

深川江戸資料館の常設展示室は、音響と照明による情景再現を特色としており、朝から夜までの江戸時代の一日の様子をリアルに体験することができます。



大正6年(1917)9月の高潮の後、江東区常盤一丁目から「芭蕉遺愛の石の蛙」(伝)が出土し、同10年に東京府は、この地を「芭蕉翁古池の跡」(文化財)に指定しました。



天明8年(1788)頃に始まり、現在も受け継がれる江戸和竿を、季節ごとに展示替えをして紹介しています。このほか江戸を中心とした物流や人の行き来を支えた水運の歴史について、江東区周辺から関東の河川流域を通して学ぶことができます。

共通入館券歴史三館 — 深川江戸資料館+芭蕉記念館+中川船番所資料館

三館共通入館券

江東区の歴史文化施設、深川江戸資料館・芭蕉記念館・中川船番所資料館の3館にそれぞれ1回ずつ入館できる券を販売しています。 ※払い戻し、再発行はいたしません。

大人 **500円**
[通常800円のところ]

小・中学生・高校生等 **100円**
[通常150円のところ]

最初の利用日から **6か月間有効**

三館共通券は、三館以外に(公財)江東区文化コミュニティ財団施設でも購入できます。



深川江戸資料館 Fukagawa Edo Museum

■観覧料 大人 400円 小・中学生・高校生等 50円
 ■観覧時間 午前9時30分から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)
 ■休館日 第2・第4月曜日 (ただし祝日にあたるときは開館)
 年末年始 (12月29日から1月1日) ※1月2日、3日は正月特別開館で展示室のみ開館
 展示替えなどのため臨時に休館することがあります。
 〒135-0021 東京都江東区白河1-3-28 TEL: 03-3630-8625
 都営大江戸線・東京メトロ半蔵門線 清澄白河駅 徒歩3分

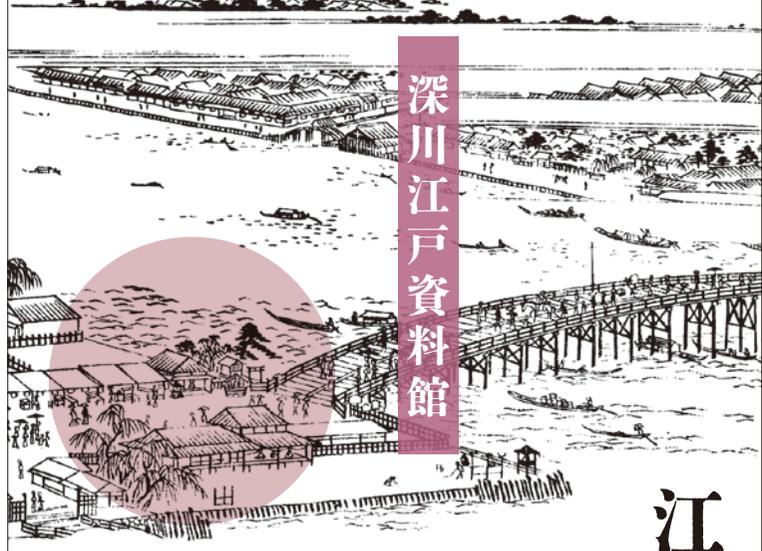
芭蕉記念館 Bashō Memorial Museum

■観覧料 大人 200円 小・中学生・高校生等 50円
 ■観覧時間 午前9時30分から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)
 ■休館日 第2・第4月曜日 (ただし祝日及び振替休日にあたるときは翌日休館)
 年末年始 (12月29日から1月1日) ※1月2日、3日は正月特別開館で展示室のみ開館
 展示替えなどのため臨時に休館することがあります。
 〒135-0006 東京都江東区常盤1-6-3 TEL: 03-3631-1448
 都営新宿線・大江戸線 森下駅 徒歩7分

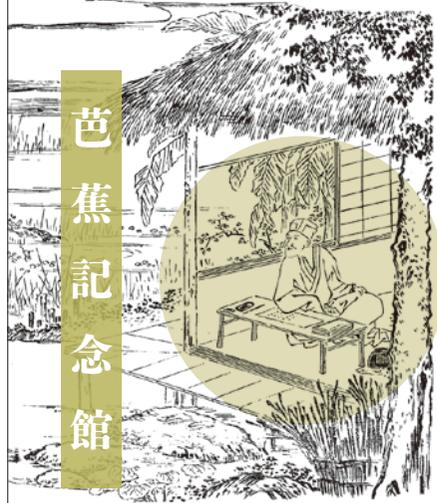
中川船番所資料館 Nakagawa Funabansho Museum

■観覧料 大人 200円 小・中学生・高校生等 50円
 ■観覧時間 午前9時30分から午後5時まで (入館は午後4時30分まで)
 ■休館日 毎週月曜日 (ただし祝日及び振替休日にあたるときは翌日休館)
 年末年始 (12月29日から1月3日)
 展示替えなどのため臨時に休館することがあります。
 〒136-0072 東京都江東区大島9-1-15 TEL: 03-3636-9091
 都営新宿線 東大島駅 徒歩5分

深川江戸資料館

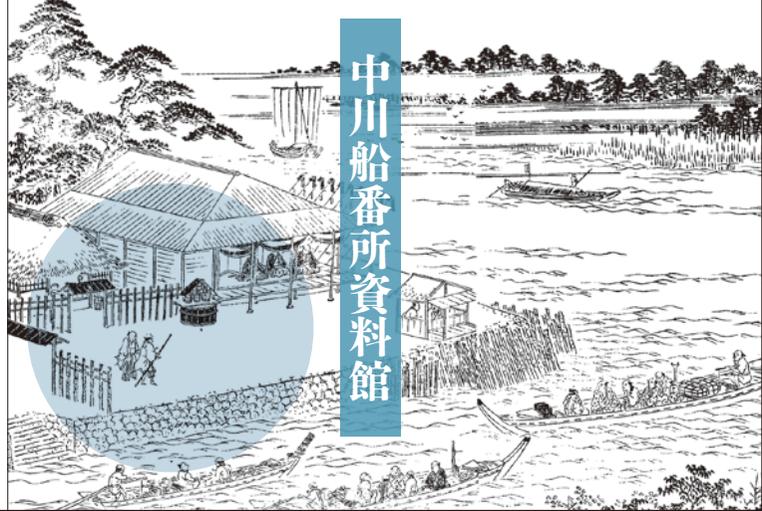


芭蕉記念館



江東区で 江戸を体感 歴史を訪ねる

中川船番所資料館



深川江戸資料館



江戸時代末期、天保年間 深川佐賀町の町並を実物大で再現しています。江戸深川にタイムスリップ！

各家には住む人の家族構成や、職業、年齢などを細かく設定し、それぞれのくらしぶりに合った生活用品を展示しています。



Fukagawa Edo Museum

Fukagawa Edo Museum contains a life-size recreation of Fukagawa-Saga chō as it existed during the Tenpō era of the Edo period. Experience a day in the life of the town through sounds and lighting. Visitors can walk inside the shops and residences and interact with the everyday tools and items of the era.



芭蕉記念館



延宝8年(1680) 深川の草庵に移り住んだ松尾芭蕉。芭蕉はこの庵を拠点に『おくのほそ道』などの紀行文を残しました。ゆかりの地で、芭蕉の魅力に触れてください。

池を配した小さな日本庭園には芭蕉の句に詠まれた植物を植え、四季折々の草花が鑑賞できます。築山の上には芭蕉庵を模した芭蕉堂があります。また、芭蕉句碑3基があります。



句碑

- 草の戸も住み替る代ぞひなの家
- ふる池や蛙飛こむ水の音
- 川上とこの川下や月の支

★約200m先(常盤1-1-3)に芭蕉庵史跡展望庭園があります。(開園時間午前9時15分～午後4時30分) ※入園無料



Bashō Museum

The Bashō Museum is host to a range of materials related to the Edo period poet, Matsuo Bashō. The place was established to promote haiku and literacy activities to the residents of the city.

Koto City is a place noted in connection with Matsuo Bashō who left a great achievement in the history of Japanese literature. Thanks to the donation of materials by Manabe Giju and others, everyone can experience the various works and haikus of Matsuo Bashō.



中川船番所資料館



江戸に出入りする船を取り締まっていた「中川番所」を実物大で再現。照明・音響を使い一日の情景変化をリアルに演出しています。



江東区の農業・漁業・産業など地域の歴史を紹介しています。また、昭和の暮らしのコーナーでは、昔の生活道具や当時の暮らしを再現した展示をしています。



Nakagawa Funa-bansho Museum

Nakagawa Funabansho Museum teaches the history of Edo's waterways through dioramas that recreate the area as it existed during the Edo period. Learn about the history of water transportation from the Edo period as well as an introduction to the local history and culture. You can view exhibits on Edo period fishing rods as well as other temporary and special exhibitions.

Nakagawa Funa-bansho is a shipping guard house, a government office, built in 1661 to exercise strict control over boats going in and out of Edo through Onagi-gawa River (canal).

